
日本経済展望

2017年11月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆トピックス	p. 7
◆見通し	
経済	p. 8
物価、金融政策、金利	p. 9
◆内外市場データ	p. 10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	安井 洋輔	(Tel: 03-6833-6334	Mail: yasui.yosuke@jri.co.jp)
ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	(Tel: 03-6833-6096	Mail: murase.takuto@jri.co.jp)
企業部門、外需	菊地 秀朗	(Tel: 03-6833-6228	Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp)
家計部門、雇用賃金	小方 尚子	(Tel: 03-6833-0478	Mail: ogata.naoko@jri.co.jp)
トピックス	安井 洋輔		
金利	根本 寛之	(Tel: 03-6833-8913	Mail: nemoto.hiroyuki@jri.co.jp)
ファンダメンタルズ（現状分析）	佐藤 聡一郎	(Tel: 03-6833-6255	Mail: sato.tp28222@jri.co.jp)

本資料は2017年11月1日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

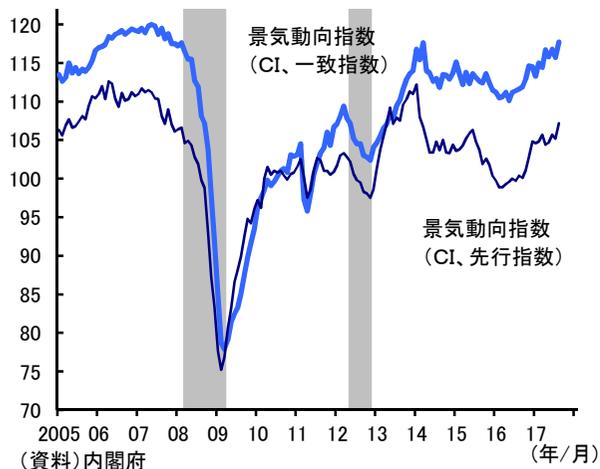
本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

概況：景気は緩やかに持ち直し

景気

先行指数は2014年2月以来の高水準
一致指数は2014年3月の水準超え

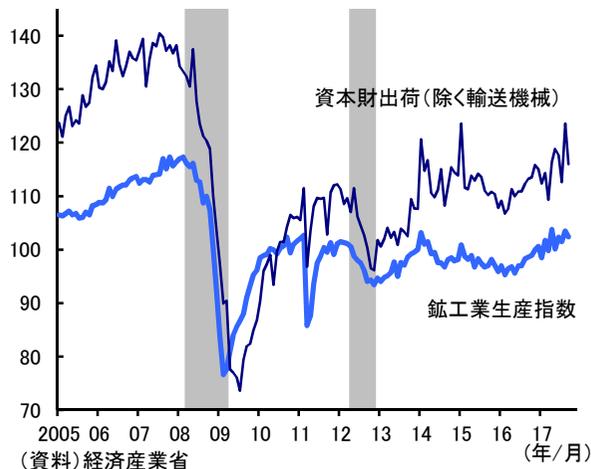
(2010年=100)



企業

生産、資本財出荷ともに振れを伴いながらも増加基調

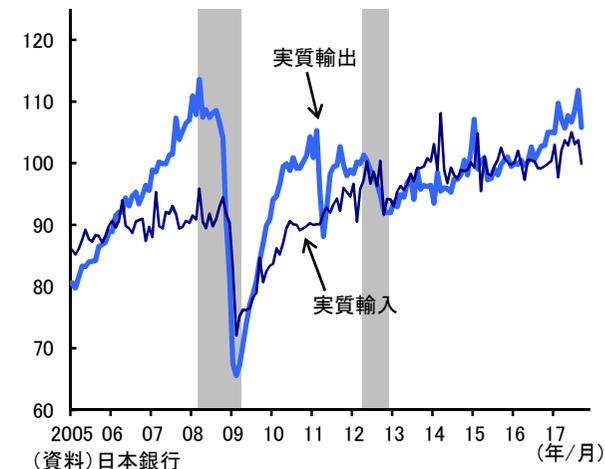
(2010年=100)



外需

輸出は足許米国向けなどで増勢が一服
輸入は2ヵ月ぶりに減少

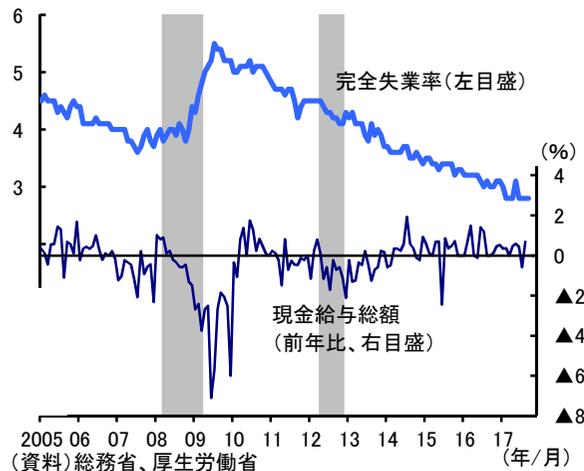
(2015年=100)



雇用所得

失業率は低水準で推移
名目賃金は小幅プラスで推移

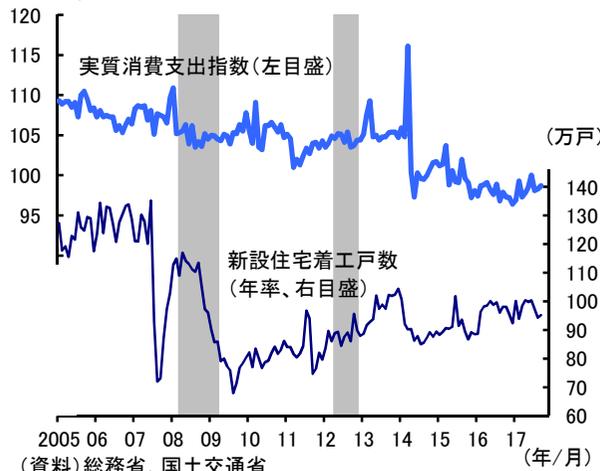
(%)



家計

消費は緩やかな回復基調
住宅着工は底堅い動き

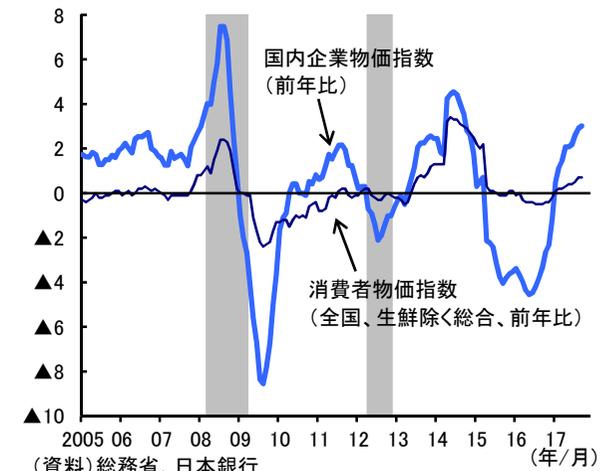
(2015年=100)



物価

国内企業物価は9ヵ月連続で前年比上昇
消費者物価は原油要因で緩やかに上昇

(%)



※シャドー部は景気後退期

企業部門で生産が増加する一方、家計部門も緩やかに回復

◆景気は総じて緩やかに持ち直し

9月の景気ウォッチャー調査では、家計動向関連の現状判断DIが上昇。気温の低下に伴い秋物衣料などが好調な小売や、インバウンド需要を受けた飲食が牽引役。企業動向関連も、IoT関連の新サービスで取引先が増加している通信業など非製造業が上昇し、好不調の分れ目を示す50を上回る水準が持続。

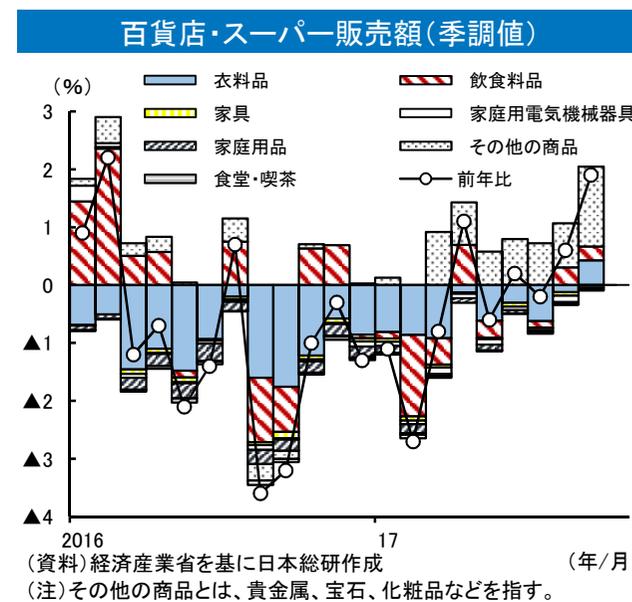
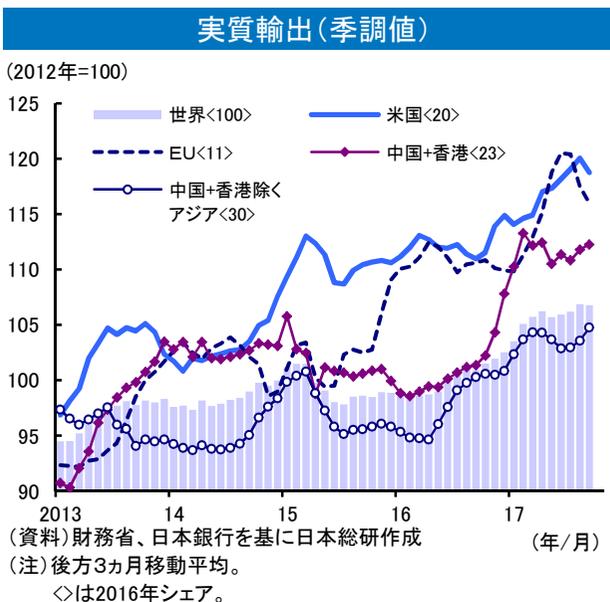
◆企業部門は生産の増加基調に変化なし

企業活動をみると、9月の鉱工業生産指数は、2ヵ月ぶりに前月比低下。スマートフォン向けの電子部品の生産が減少したほか、はん用・生産用・業務用機械が8月に大幅増産となった反動で減少したことなどが要因。もともと、10月の生産見通し（試算値）が前月比+2.4%と大幅増産を計画しており、回復基調は崩れていないと判断。ただし、大手自動車メーカーの品質検査の不正による出荷停止の影響で下振れる可能性も。

輸出は底堅く推移。足許では、ハリケーンの影響を受け米国向けの自動車の伸び率が低下したことから、やや弱含み。

◆家計部門は緩やかな回復基調

9月の百貨店・スーパー販売額は、前年比+1.9%と前月よりプラス幅が拡大。インバウンド需要や株高を受けた富裕層の消費意欲の高まりにより、百貨店で貴金属や宝石などの高額品販売が好調だったことが背景。



輸出は緩やかに持ち直し

◆インバウンド需要の持ち直しが持続

インバウンド需要をみると、為替相場の円安地合いが続くなか、訪日外客数が前年比2割増増加し、1人当たり消費額もプラスに転化。

先行きは、①アジア新興国の所得拡大が続くこと、②ホテル稼働率の高止まりなど供給制約はあるものの、宿泊施設増加などわが国での受け入れ環境整備が進展していること、などから、インバウンド需要は堅調を維持する見込み。

◆財輸出は緩やかに持ち直し

実質財輸出は、ハリケーンによる米国向け輸送機械の大幅減を主因に、9月単月では前月比▲5.4%減。もっとも、①ハリケーン後の買い替え需要を受けた米国自動車販売の急増、②本年入り後に米国自動車販売が軟調になるなかでも、堅調を維持するわが国メーカー車の需要、などを背景に、早晚持ち直し見込み。

電子部品・デバイス類も、足許では減少したものの、世界のIT需要は引き続き堅調。中長期的にみても、クラウド化、IoT、車載関連の需要拡大にけん引されて、電子部品・デバイス類の輸出は底堅い推移が続く見込み。

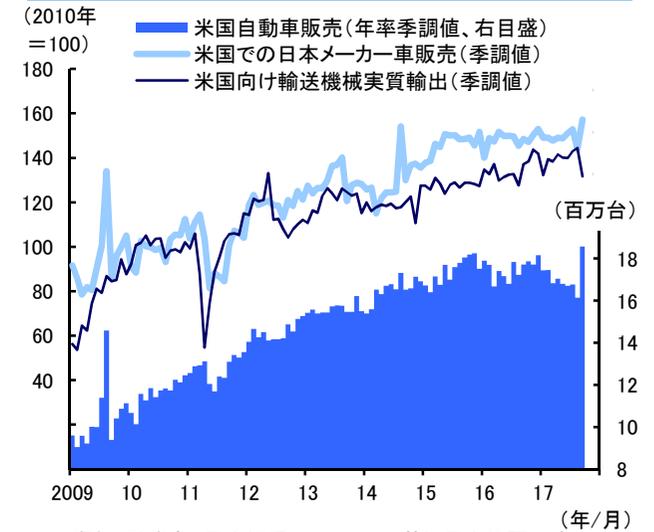
もっとも、製造拠点の海外移管の進展に伴い、海外需要の増加には海外生産で対応するケースが拡大していることから、輸出の増加ペースは緩やかに。

訪日外国人旅行消費額と実質実効為替レート



(資料)観光庁、政府観光局、日本銀行

米国自動車販売と米国向け輸送機械実質輸出



(資料)財務省、日本銀行、Autodataを基に日本総研作成

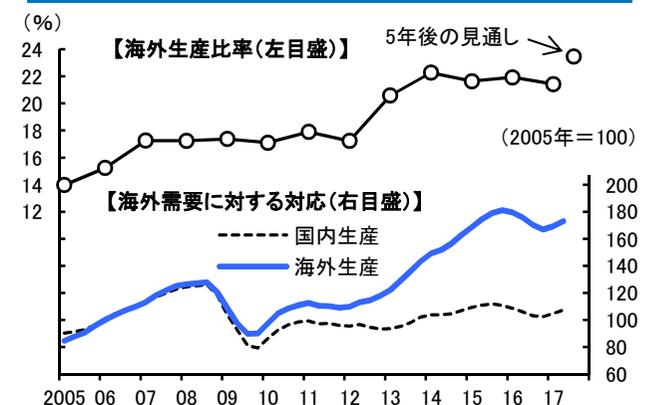
世界半導体出荷額と電子部品デバイス類輸出



(資料)WSTS、財務省、日本銀行を基に日本総研作成

(注)ともに季調値は日本総研作成。凡例<>内は、2016年名目輸出全体(金、再輸出除く、65.1兆円)に占める電子デバイス類のシェア。

海外生産比率と海外需要への対応



(資料)内閣府、経済産業省、財務省を基に日本総研作成

(注1)海外生産比率は、年度調査の計数を年度末に図示。

(注2)海外需要に対する対応は、国内生産が名目財輸出、海外生産が海外現地法人の売上高(除く日本向け)。両計数ともに後方4期移動平均。

企業収益が改善するなか、設備投資も持ち直しへ

◆企業収益は改善

日銀短観の利益計画をみると、為替相場が企業の想定レートを上回る円安で推移するなか、上方修正の見込み。

収益改善の背景には、円安や輸出増のほか、これまでの海外進出拡大に伴い、海外子会社からの知的財産権等使用料（受取）の増加など、わが国企業の海外での「稼ぐ力」の強化も一因。

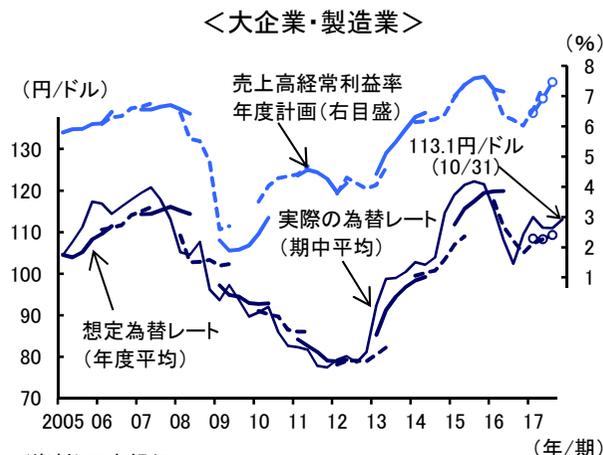
先行きは、北朝鮮情勢の緊迫化による円高急進などがなければ、引き続き改善基調を維持する見込み。

◆設備投資は持ち直しへ

設備投資は、少子高齢化・人口減少に伴う国内需要の縮小見込みなどから、依然として慎重さが残る状況。もっとも、先行きは、キャッシュフローが潤沢ななか、成長分野への対応や、維持・更新、合理化・省力化を中心に、設備投資は持ち直し見通し。

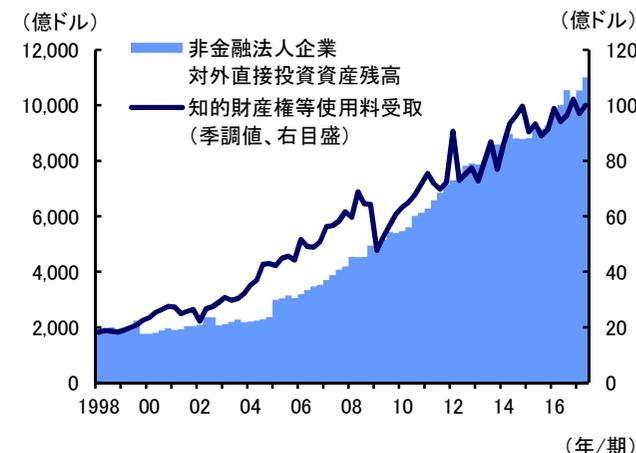
労働分配率は、企業が人件費増加に慎重な姿勢を崩さないなか、1991年以来的水準まで低下。もっとも、①人手不足感が一段と強まっていること、②業績改善傾向が続くことを踏まえると、今後は徐々に賃金の伸びも高まっていく見通し。

売上高経常利益率計画と想定為替レート



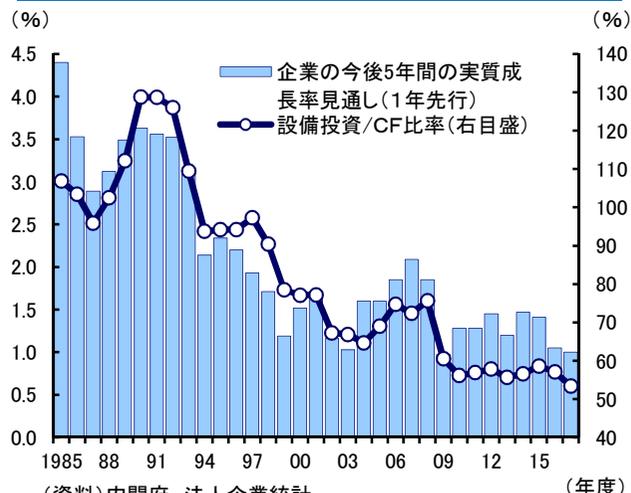
(資料) 日本銀行
(注) 売上高経常利益率年度計画と想定為替レートは、3月調査→6月調査→9月調査→12月調査→実績見込み→実績の順に各年度をプロット。直近○は17年度計画。

知的財産権等使用料と対外直接投資資産



(資料) 財務省、日本銀行等を基に日本総研作成
(注) 法人企業直接投資資産残高は期末値。知的財産権等使用料の季調値は日本総研作成。

期待成長率と設備投資/キャッシュフロー比率



(資料) 内閣府、法人企業統計
(注) 成長率見通しの調査時期は1月(2016年度調査は17年1月)。17年度の設備投資/キャッシュフロー比率は4~6月期。

労働分配率



(資料) 財務省を基に日本総研作成
(注1) 金融業・保険業除く、全規模・全産業。季節調整値は日本総研作成。
(注2) 労働分配率=人件費/付加価値額、付加価値額=経常利益+人件費+減価償却費+支払利息等。

所得の回復は緩慢

◆伸び悩む賃金

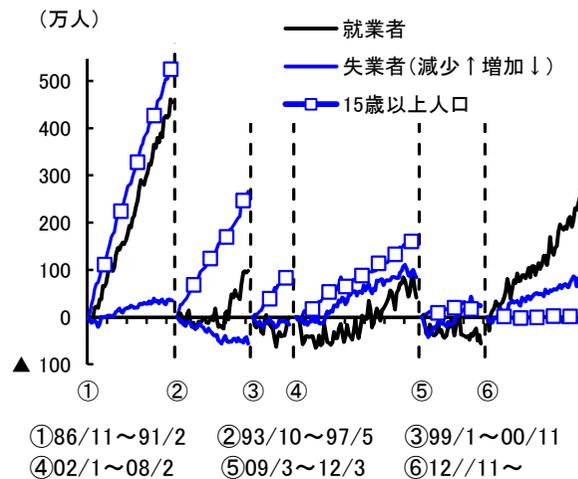
雇用情勢は緩やかな改善傾向。2012年11月以来の今次景気拡大局面では、15歳以上人口が増えないなかでも、就業者数の増加が持続。景気の谷以降の就業者増加は、バブル景気以来のハイペース。短時間労働者が増えているものの、労働投入量も、2014年初以降、フルタイム雇用を中心に増加が持続。

賃金も、人手不足が特に深刻な運輸業、建設業や、転職者を中心に上昇傾向。もっとも、企業規模別にみると、賃金引き上げに動いているのは、賃金水準が相対的に低い中小企業が中心。一方、大手企業では、海外経済の先行き不透明感等が意識され、2017年度の春闘賃上げ率は昨年並みにとどまったうえ、夏季賞与は前年比マイナス。業種別にみても、雇用増加の中心は、宿泊飲食、医療福祉、卸・小売など賃金水準が相対的に低い業種となっていることもあり、平均賃金は2017年度入り後に伸び悩み。

◆所得の回復は緩慢

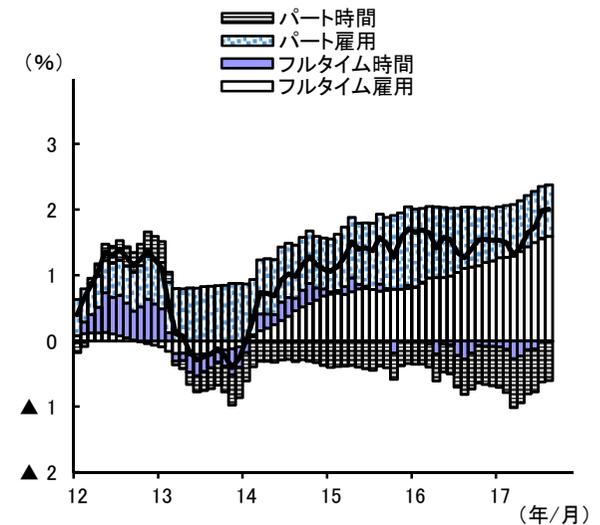
先行きを展望すると、景気の回復基調が維持されるもと、雇用情勢の改善は続く見込み。もっとも、給与の回復ペースは引き続き緩慢。春闘賃上げ率の伸び悩みを背景に、雇用者の所定内給与の改善は今年度いっぱい小幅にとどまる見込み。実質ベースでみても、エネルギー価格上昇と円安により、消費者物価が前年比プラスに転じたため、家計の実質購買力に対する下押し圧力が高まる見込み。

景気拡大局面別の人口、就業者数、失業者数



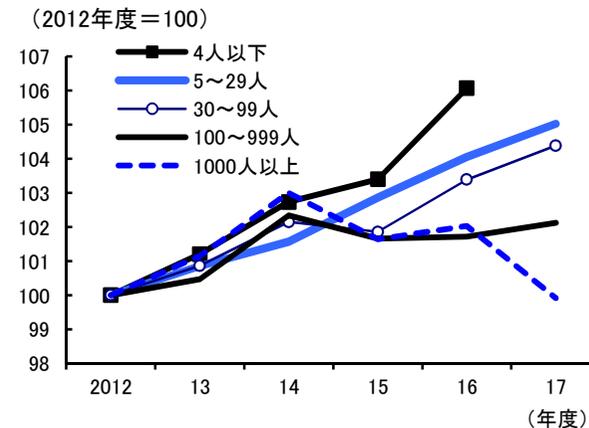
(資料)総務省「労働力調査」
(注)景気の谷以降の変化幅。

労働投入量(前年比)



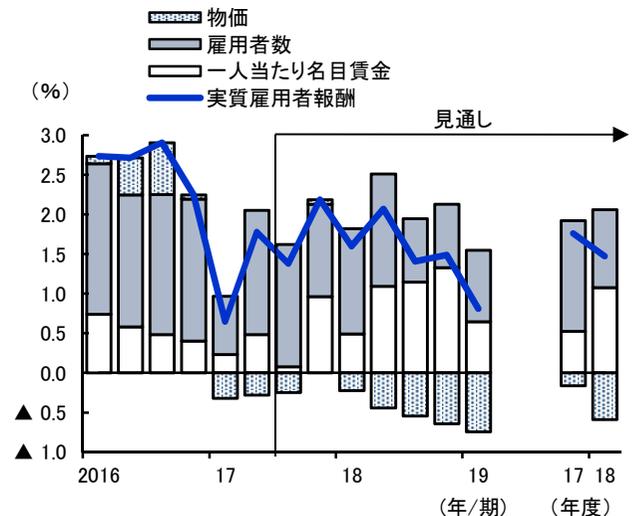
(資料)厚生労働省「毎月勤労統計」、総務省「労働力調査」

フルタイム労働者の現金給与総額



(資料)厚生労働省「毎月勤労統計」
(注1)4人以下は特別調査の7月の月給および7月までの1年間の特別給与からの概算値。
(注2)2017年度は4～8月の前年比伸び率を用いて延長。

雇用者報酬(前年比)



(資料)内閣府などを基に日本総研作成

個人消費は緩やかに回復

◆個人消費には緩やかな回復基調

耐久財消費は、2009年以降の消費支援策や2014年の消費増税前の駆け込み需要の反動減がようやく一巡し、徐々に買い替え需要が顕在化。

なお、乗用車については、10月に表面化した不正検査問題が下押し要因となるものの、一時的な落ち込みにとどまる見込み。

サービス消費も、外食などに回復の動き。背景には、雇用所得環境の改善と、消費者マインドの持ち直し。足元の株価上昇も資産効果を通じた消費押し上げに作用。

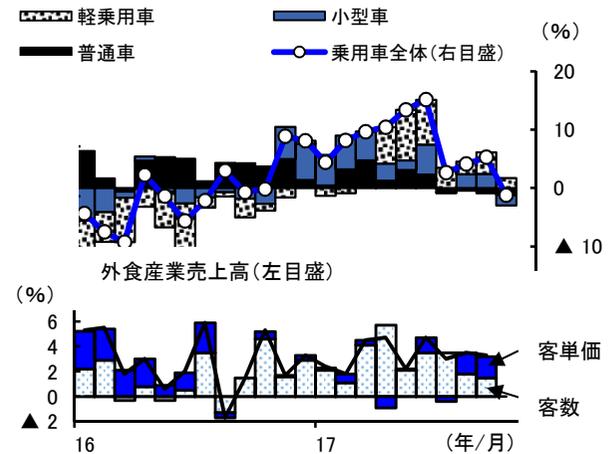
◆引き続き緩慢な消費回復

先行きを展望すると、雇用情勢の改善持続が、消費押し上げに作用する見込み。もっとも、賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増加が、可処分所得の重石となるため、消費の増加ペースは緩やかにとどまる見込み。

若年層を中心に消費性向の低下が持続。この背景には、消費拡大をけん引するような新商品の不在や、将来不安等を背景とした節約志向。加えて、低金利が続くもとで、住宅購入に動く世帯の割合が高まり、ローン返済負担の増大が消費を下押ししている側面も。

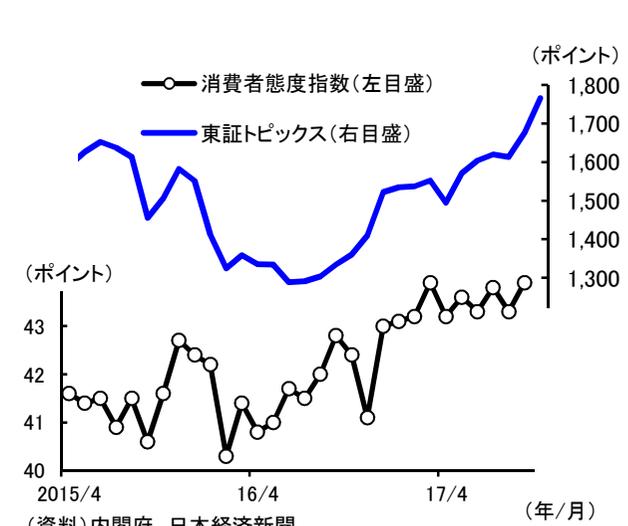
また、消費市場全体の半分近くを占める世帯主60歳以上の世帯では、価格が上昇している食品やエネルギーなどの支出ウェイトが高いため、購買力が押し下げられる見込み。

乗用車販売と外食産業売上高(前年比)



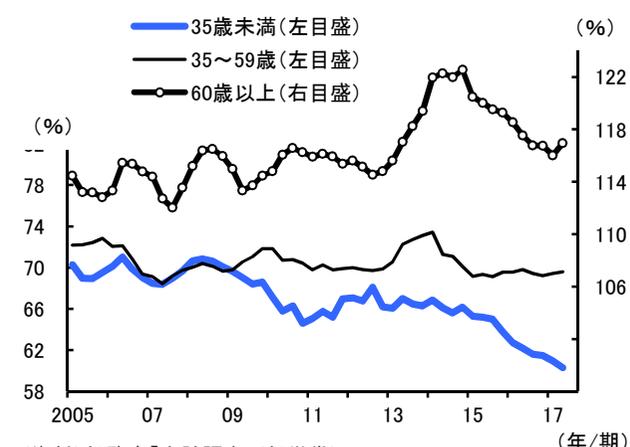
(資料)日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本フードサービス協会を基に日本総研作成
(注)棒グラフは変化の内訳。

消費者マインドと株価



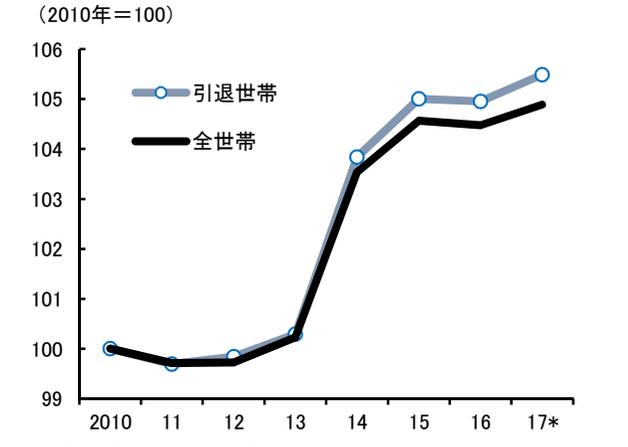
(資料)内閣府、日本経済新聞

世帯主年齢階層別の消費性向(総世帯)



(資料)総務省「家計調査」(総世帯)
(注1)勤労者世帯。60歳以上は二人以上の無職世帯と勤労者世帯の加重平均。
(注2)後方4期移動平均。

引退世帯の消費者物価



(資料)総務省「消費者物価」
(注1)引退世帯は世帯主60歳以上の無職世帯。
(注2)2017年は1~9月平均。

トピックス：過熱が続く貸家建設

◆狭小貸家建設が急増

貸家建設は、足許高水準で推移。とりわけ、床面積が30㎡以下の狭小貸家の割合は、2014年初の10%程度から、2017年には20%近くまで上昇。東京や埼玉などの首都圏だけでなく、関西圏や名古屋圏、3大都市圏以外の地方都市でも顕著に増加。

◆狭小貸家建設増加の背景

狭小貸家の建設が増加した理由は以下の2点。第1に、金利低下や建設資材価格の下落等に伴い貸家オーナーの貸家採算が改善したこと。ただし、足元では採算要因は一巡。第2に、相続税の課税強化によって貸家建設による節税効果が高まったこと。特に、小規模宅地等の特例^(*)が、狭小貸家を建設するインセンティブとして作用。

◆足元の狭小貸家は供給過剰

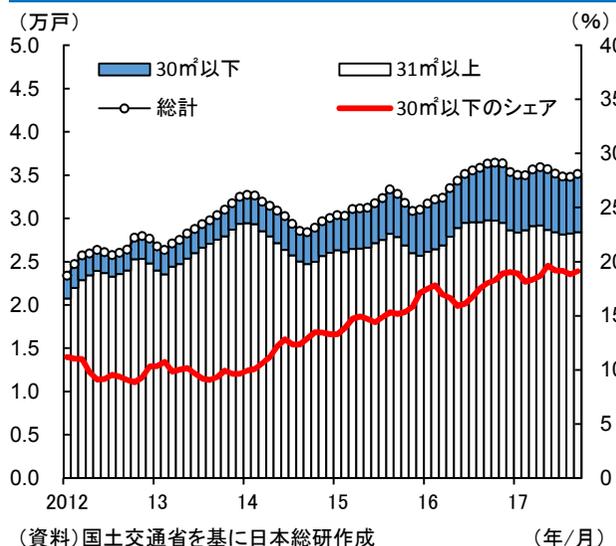
狭小貸家の潜在需要を推計すると、振れを伴いながらも減少トレンドで推移。建て替え需要の増加に対し、狭小貸家への居住率が高い若年単身世帯数が少子化・人口減少によって大きく減少することが背景。

実際の狭小貸家着工戸数は、2016年には潜在需要を3万戸弱上回り、2017年も9月までのペースを勘案すれば4万戸以上上回られて推移するなど、供給過剰の可能性大。

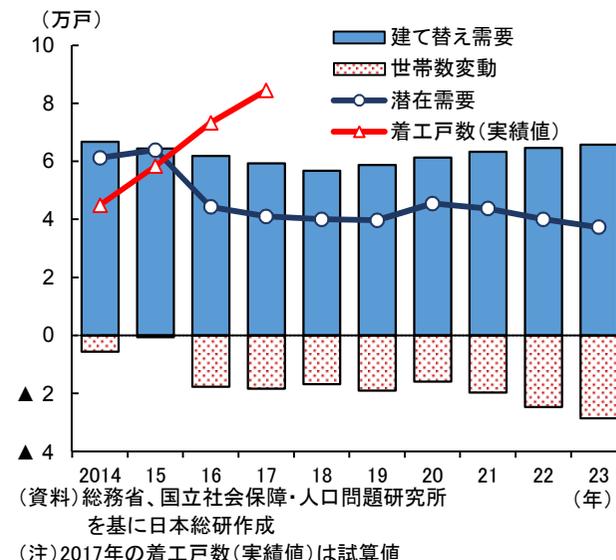
この結果、床面積が広いファミリー向け貸家の空室率が低水準で推移しているのに対し、狭小貸家の空室率は2016年頃から急ピッチで上昇。

^(*) 小規模宅地等の特例とは、被相続人（亡くなった人）が貸付事業用宅地として活用していた土地の評価額について、200㎡を限度として5割減額される措置。

貸家着工戸数



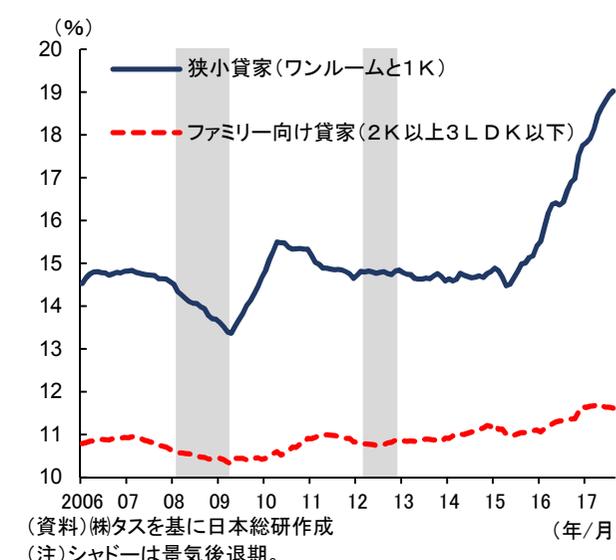
狭小貸家の潜在需要と実績値



狭小貸家採算性指数の推移



空室率の推移



底堅い内外需を背景に、緩やかな回復基調が続く見通し

◆2017年度は1%台半ばのプラス成長

わが国景気の先行きを展望すると、経済対策効果の一巡などを背景に、成長ペースは鈍化する見込み。

もともと、①企業の在庫復元の動き、②都心部での再開発や宿泊施設の新設といった非製造業の建設投資、③製造業を中心とした研究開発投資、などが引き続き国内需要の下支えに作用。加えて、輸出も、世界的な設備投資の改善などを背景に、再び増加基調に復帰するとみられることから、緩やかな回復基調は崩れない見込み。2017年度の成長率は1%台半ばに。

◆2018年度も緩やかな回復基調が持続

2018年度に向けても、米国や中国を中心に海外経済の堅調が見込まれるなか、輸出は増加基調が続く見込み。国内需要も、人手不足が続くもとでの雇用所得環境の改善や、五輪関連の建設需要などを背景に底堅く推移するとみられることから、緩やかな回復基調が続く見通し。

もともと、引き続き社会保険料負担や、物価上昇に伴う年金受給世帯の購買力低下などが重石となることで、個人消費は力強さを欠く見込み。景気に弾みがつき難い状況が続くなか、2018年度の成長率は、1%程度に鈍化する見通し。

わが国主要経済指標の予測値(2017年11月1日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2016年	2017年				2018年				2019年	2016年度		
	10~12 (実績)	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	(実績)	(予測)	(実績)
実質GDP	1.6	1.2	2.5	1.2	0.9	0.8	1.0	1.3	1.3	1.2	1.3	1.5	1.1
個人消費	0.5	1.5	3.4	0.2	0.6	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	1.4	0.7
住宅投資	0.9	4.0	5.1	▲0.3	▲3.2	▲0.4	0.5	0.6	0.8	0.8	6.6	2.3	▲0.1
設備投資	8.1	2.1	2.1	1.8	2.4	2.8	3.0	3.0	2.9	2.9	2.5	2.6	2.8
在庫投資 (寄与度)	(▲0.7)	(▲0.6)	(▲0.1)	(0.8)	(0.6)	(▲0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(▲0.4)	(▲0.1)	(0.1)
政府消費	0.1	▲0.2	1.6	0.9	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	0.4	0.8	1.1
公共投資	▲9.2	1.5	26.1	4.3	▲5.1	▲3.5	▲2.8	2.0	1.2	▲1.2	▲3.2	4.9	▲1.2
純輸出 (寄与度)	(1.3)	(0.5)	(▲1.2)	(▲0.2)	(▲0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.8)	(▲0.0)	(0.1)
輸出	13.1	8.0	▲1.9	2.0	2.2	2.5	2.7	2.8	2.8	2.8	3.2	3.8	2.6
輸入	5.5	5.4	5.7	3.2	2.9	2.0	2.2	2.2	2.2	2.1	▲1.4	4.1	2.3

名目GDP	1.6	0.7	1.0	1.6	1.5	1.9	1.4	1.5	1.6	1.9	1.1	1.5	1.6
GDPデフレーター	▲0.1	▲0.8	▲0.4	▲0.0	▲0.0	0.6	0.4	0.5	0.5	0.6	▲0.2	0.0	0.5
消費者物価 (除く生鮮)	▲0.3	0.2	0.4	0.6	0.7	0.7	0.8	1.0	1.0	1.1	▲0.2	0.6	1.0
鉱工業生産	2.1	3.8	5.9	4.1	3.0	2.8	1.1	0.7	0.3	0.9	1.1	3.9	0.7

完全失業率 (%)	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	3.0	2.8	2.7
経常収支 (兆円)	4.09	5.97	4.56	6.54	3.52	5.65	4.35	6.67	4.29	7.64	20.38	20.27	22.95
対名目GDP比 (%)	2.9	4.4	3.4	4.9	2.5	4.1	3.2	4.9	3.0	5.5	3.8	3.7	4.1
円ドル相場 (円/ドル)	109	114	111	111	113	113	114	114	115	115	108	112	115
原油輸入価格 (ドル/バレル)	46	55	53	50	58	60	61	61	62	62	47	55	61

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを
基に日本総研作成
(注)2017年10月31日公表の2017年7~9月期1次
QE予測は反映せず。

海外経済の前提

	(前年比、%)		
	2016年 (実績)	2017年 (予測)	2018年
米国	1.5	2.2	2.3
ユーロ圏	1.8	2.2	1.8
中国	6.7	6.8	6.4

過去の実質GDP予測値

	(前年比、%)		
	2016年度 (予測)	2017年度	2018年度
8月号	1.2	1.4	1.1
9月号	1.3	1.9	1.1
10月号	1.3	1.5	1.1

物価は前年比+1%近傍で推移、長期金利はゼロ%近辺で推移

◆物価は上昇局面へ

コアCPIは、1月に前年比プラスに転じた後、プラス幅が拡大。耐久財や通信料などで下落が続くものの、エネルギー価格の上昇が全体を押し上げ。

先行きは、エネルギー価格の騰勢が鈍化するものの、マクロ的な需給環境の改善などを背景に、前年比+1%近傍の推移が続く見通し。

◆短期金利は現行水準を維持

日銀は、10月の金融政策決定会合で、物価見通しを下方修正したものの、基本的なシナリオは堅持。現状の金融政策は維持され、10年物国債金利をゼロ%程度とする現行政策のもとで、影響・効果を見極める姿勢。

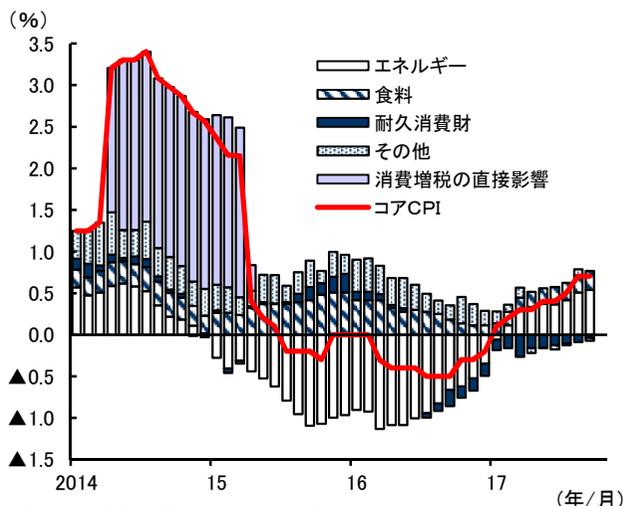
政策金利については、当面、現行水準(▲0.1%)を維持する見込み。

◆長期金利は概ねゼロ%程度で推移

長期金利は、世界的な景気拡大期待などを背景に米国長期金利が上昇するなか、日銀のイールドカーブ・コントロール政策のもと、0.06%程度で推移。

先行きを展望すると、米国長期金利の上昇に伴い上振れ圧力が高まるものの、日銀の物価目標の達成にはなお時間を要し、当面長期金利の誘導目標は据え置かれると予想されることから、0%近辺での推移が続く見通し。

コアCPI(前年比)



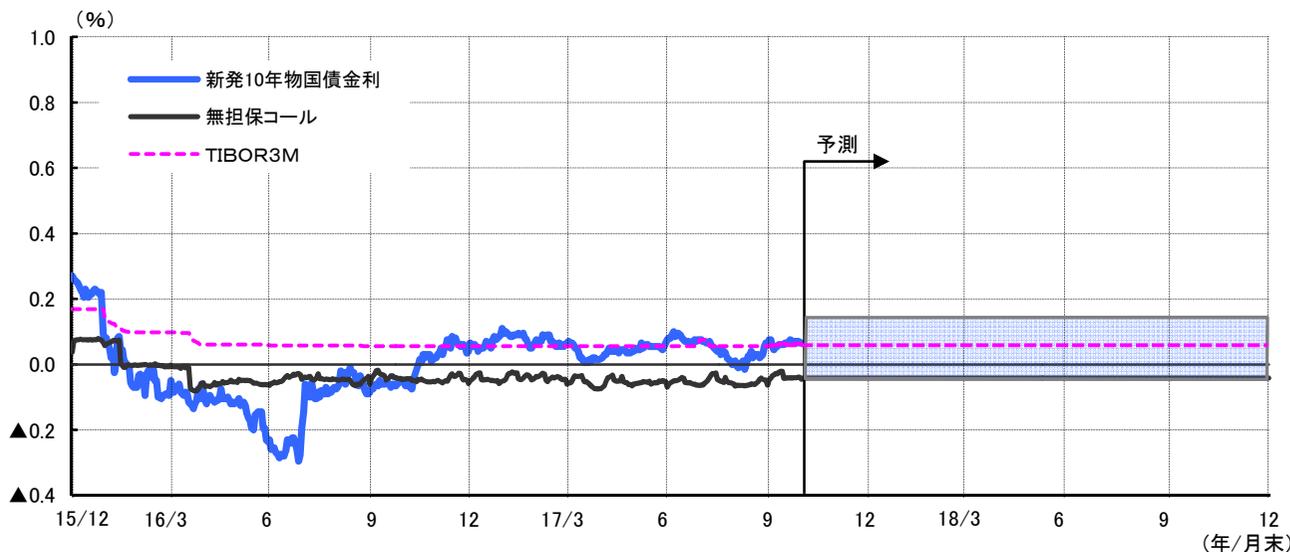
(資料)総務省を基に日本総研作成
(注)エネルギー、食料、耐久消費財などは消費税の影響を除く。

日銀の景気・物価見通し(前年度比)

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)
2017年度	+1.7~+2.0 <+1.9>	+0.7~+1.0 <+0.8>
7月時点	+1.5~+1.8 <+1.8>	+0.5~+1.3 <+1.1>
2018年度	+1.2~+1.4 <+1.4>	+1.1~+1.6 <+1.4>
7月時点	+1.1~+1.5 <+1.4>	+0.8~+1.6 <+1.5>
2019年度	+0.7~+0.8 <+0.7>	+1.5~+2.0 <+1.8>
7月時点	+0.7~+0.8 <+0.7>	+0.9~+2.0 <+1.8>

(資料)日本銀行
(注1)<>内は中央値。
(注2)2019年度の消費者物価は、消費税率引き上げの影響を除く。

わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利	ユーロ円 (TIBOR)			円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	
14/3	0.08	0.21	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.62	1.48	1.20	102.36	141.52	14694.83	1190.57	0.08	0.23	2.72	16308.63	0.31	1.59	
14/4	0.08	0.21	0.31	0.19	0.33	0.79	0.09	0.62	1.48	1.20	102.51	141.58	14475.33	1171.18	0.09	0.23	2.69	16399.50	0.33	1.53	
14/5	0.09	0.21	0.30	0.19	0.32	0.77	0.09	0.60	1.48	1.20	101.84	139.85	14343.14	1174.62	0.09	0.23	2.55	16567.25	0.33	1.40	
14/6	0.08	0.21	0.30	0.18	0.29	0.74	0.09	0.59	1.48	1.20	102.06	138.81	15131.80	1246.22	0.10	0.23	2.59	16843.75	0.24	1.35	
14/7	0.08	0.21	0.30	0.17	0.26	0.68	0.07	0.55	1.48	1.17	101.75	137.74	15379.29	1275.72	0.09	0.23	2.53	16988.26	0.21	1.20	
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02	
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00	
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88	
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79	
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.12	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64	
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45	
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	▲ 0.04	0.38	1.48	1.12	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35	
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26	
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16	
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58	
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83	
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76	
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67	
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.12	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68	
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55	
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55	
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60	
16/1	0.09	0.17	0.25	▲ 0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51	
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23	
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.97	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22	
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18	
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16	
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01	
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09	
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07	
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05	
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04	
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24	
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29	
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35	
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32	
17/3	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.10	0.26	▲ 0.26	0.07	1.48	0.95	112.92	120.67	19340.18	1552.10	0.79	1.13	2.48	20823.06	▲ 0.33	0.39	
17/4	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.07	0.23	▲ 0.21	0.03	1.48	0.95	110.04	117.93	18736.39	1494.81	0.90	1.16	2.29	20684.69	▲ 0.33	0.25	
17/5	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.08	0.24	▲ 0.17	0.04	1.48	0.95	112.24	124.09	19726.76	1571.62	0.91	1.19	2.30	20936.81	▲ 0.33	0.38	
17/6	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.10	0.24	▲ 0.12	0.06	1.48	0.95	110.97	124.70	20045.63	1603.77	1.04	1.26	2.18	21317.80	▲ 0.33	0.29	
17/7	▲ 0.05	0.06	0.10	0.05	0.12	0.27	▲ 0.11	0.08	1.48	0.99	112.38	129.59	20044.86	1620.17	1.15	1.31	2.31	21581.25	▲ 0.33	0.54	
17/8	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	109.84	129.81	19670.17	1612.95	1.16	1.31	2.20	21914.08	▲ 0.33	0.42	
17/9	▲ 0.06	0.06	0.10	0.02	0.08	0.22	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	110.81	131.93	19924.40	1638.79	1.15	1.32	2.20	22173.41	▲ 0.33	0.41	
17/10	▲ 0.04	0.06	0.09	0.04	0.11	0.26	▲ 0.14	0.07	1.48	1.00	112.93	132.75	21267.49	1721.72	1.15	1.36	2.36	23036.24	▲ 0.33	0.43	